

パブリックコメント（意見公募）の実施結果について

募集期間：令和3年12月10日（金）～令和4年1月11日（火） 提出者数：6人 意見数：18件

●計画全般

No.	施策	意見要旨	意見に対する市の考え方
1	全般	内容のまとめ方、データ推移、SDGsとの関連性などが見やすい。今回 twitter の投稿を見て、初めて計画書の存在を知った。計画の周知を行うべきである。	市民参加、市民協働のまちづくりを進めるうえで、市民の皆さんとまちづくりの指針を共有することは重要であると認識しています。 総合振興計画の位置づけや考え方、さらに本計画に基づいて取り組む各事業の実施状況や成果の進捗状況等について、積極的な公表に努めてまいります。

●政策1 子育て・教育・文化に関する政策

No.	施策	意見要旨	意見に対する市の考え方
2	1-1	子育てにおける支え合いにつながる仕組みづくりについて 高齢者が子育て世帯と関わり合えるような仕組みの構築を検討されたい。	市では「次代の夢咲く 子育てNo1のまち こうのす」を基本理念に掲げ、子育て施策の推進を図っています。基本理念の実現に向けて、ファミリーサポートセンターを含め、地域での子育て支援の充実に努めてまいります。
3	1-1 3-1	親子の健やかな成長支援について 乳幼児の健やかな成長のため、午睡時間の防災無線の放送は柔軟に対応されたい。	いただいたご意見は、担当課と共有し、今後の施策推進の参考にさせていただきます。
4	1-2	家庭の学校活動（PTA等）への参加について 少子化やコロナの影響を考慮し、家庭の学校活動（PTA等）への参加の見直しを図り、必要な活動はシルバー人材センターを活用することについて検討されたい。	学校教育の充実に努めるうえで、学校・家庭・地域の連携・協力は不可欠であると認識しており、計画においても位置づけているところです。 いただいたご意見は、担当課と共有し、今後の施策推進の参考にさせていただきます。
5	1-2	基本事業6「学校・家庭・地域の連携と教育力の向上」について 学校教育において、企業等と連携することにより、それぞれが持つ専門的な知識や経験を知るだけでなく、社会の中での企業等の役割や、働く人々を垣間見ることが出来る貴重な体験の場になると考える。こうしたことから、基本事業名に「企業等」を加えることを検討されたい。	企業・団体等と連携することにより、それぞれの特長を活かした優れた展開が図れるものと考えており、本計画ではすべての施策においてSDGsとの関連項目として「17 パートナリーシップでの目標達成」を掲げております。 そのため、基本事業名に明記してはおりませんが、全施策共通の事項として、企業連携を含めたパートナーシップの重要性を認識し、施策推進を図ってまいります。

●政策2 保健・福祉・医療に関する政策

No.	施策	意見要旨	意見に対する市の考え方
6	2-2 2-5	ホームレスについて 状況や理由は様々だと思うが、貧困対策、健康的な生活の確保といったSDGsの観点からも必要に応じて住居や仕事の斡旋等、それぞれに寄り添った支援をしていただきたい。	ホームレスの方をはじめ、市民の生活支援や悩みの相談については、施策2-2「地域福祉の推進」や、施策2-5「セーフティネットの推進」に示すとおり、社会福祉協議会や地域の民生委員・児童委員などの関係機関と連携し、適切な相談・支援につなげてまいります。
7	2-3	夏季の熱中症や冬季のヒートショックについて、その防止策を検討・具体化されたい。	いただいたご意見は、今後の施策推進の参考にさせていただきます。また、そうした専門知識やノウハウを有する企業等との連携も視野に入れて取り組みます。

●政策3 安全・安心に関する政策

No.	施策	意見要旨	意見に対する市の考え方
8	3-1	在宅避難・分散避難が可能となる取組の促進について 災害発生時における三密回避策としての在宅避難・分散避難の有効性が訴えられているところであるが、その際の「自助」として、太陽光発電、家庭用燃料電池等の普及を促進されたい。	施策3-3「循環型社会・脱炭素社会の形成」における、「再生可能エネルギーの活用」や「脱炭素行動の実践」にもつながってくるところであり、普及に向けては「住宅用省エネルギー設備設置費補助金」制度も実施しているところです。
9	3-1	災害情報伝達力の向上について 各ライフライン関係企業と情報共有体制を強化し、各社の災害情報を迅速に市民に伝達されるよう体制を強化されたい。	情報伝達を含め、災害発生時の対応には、民間企業等との連携が不可欠であると認識しており、市では60以上の災害時支援協定を締結しています。連携先と協力し、情報伝達力の向上に努めます。
10	3-3	ごみの排出量抑制の具体策の検討 ごみの排出量の削減では、生ごみ処理・堆肥化する機械等の導入といった具体的な取組を示すべきである。 また、家具類の粗大ごみを集め、自由に再利用できる仕組みを検討されたい。	市では家庭から出される生ごみを減量し、資源化を推進するために、家庭用生ごみ処理機器を購入された方へ補助金を交付しています。 今後も市民へのごみの排出量の削減や生ごみの水分を減らす意識啓発を行うほか、ご指摘いただいた内容の検討と併せ、資源化・4Rの推進に努めてまいります。
11	3-3	市民も交えた意見交換の場の設定 ごみの排出量抑制の具体策の検討や新たなごみ処理施設の整備について、意見書という形も含め、市民として関わられる場があった方がよい。	ごみ排出量の抑制や資源化の推進、ごみの適正処理については、市民の皆さんの意識醸成と生活での実践が非常に重要であると認識しています。ご指摘の点につきましては、今後の施策推進の参考にさせていただきます。

12	3-3	<p>ゼロカーボンシティを目指すうえでは、再生可能エネルギーの活用に加え、蓄電池や家庭用燃料電池等の創エネ・省エネ設備の普及促進も重要であると考え。そのため、基本事業中の表現として「再生可能エネルギー」とあるのを「再生可能エネルギー等」と改めることを検討されたい。</p>	<p>本計画においては、市民にわかりやすい計画を策定の基本姿勢としており、政策・施策・基本事業の設定にあたっては、可能な限り明瞭かつわかりやすい名称としています。</p> <p>当該基本事業に関しては、前期計画から継続しているものであり、「等」を付すことにより、目指す姿が不明瞭になると考え、後期計画においても、当該名称で実施してまいります。</p>
----	-----	--	---

●政策4 都市基盤に関する政策

No.	施策	意見要旨	意見に対する市の考え方
13	4-5	<p>豊かな自然・強みを生かした特色あるまちづくりについて 伝統文化や地域を盛り上げる取組、都心からのアクセス、豊かな自然等の強みを生かし、在宅ワークなどで気軽に自然や文化を感じに來られる町としてPRされたい。廃校についても、そうした魅力をPRする場としての活用を検討されたい。</p>	<p>市では、地域の強みともいえる豊かな自然を生かすため、施策4-5「花と緑あふれる空間の創出」として計画の中でも位置づけています。この取組を分野横断的に展開し、特色ある事業を実施してまいります。</p> <p>廃校を含め、公共施設の利活用につきましては、地域の方のご意見も取り入れ、検討を進めてまいります。</p>

●政策5 産業に関する政策

No.	施策	意見要旨	意見に対する市の考え方
14	5-1	<p>誘致したい企業のペルソナ像を見せることで企業側に伝わり、誘致につながると考える。例えば、仮染街などまちのにぎわいと掛け合わせたメイクやファッション、スタジオ運営などの起業・企業誘致により、既にあるカラーを生かすことができる。また、コワーキングスペースやシェアオフィスなどの整備、教育 ICT との親和性の高い IT 企業の誘致により、若い方が集まり、まちづくりの人材確保にも貢献すると考える。</p>	<p>デジタル技術の進展、特に新型コロナウイルス感染症によるテレワークの普及は、本市にとって仕事と若者を呼び込むチャンスであると認識しています。</p> <p>いただいたご意見は、担当課とも共有し、今後の施策展開の参考にさせていただきます。</p>
15	5-1	<p>短期的に何社を誘致するというのも必要な目標だが、地域で人が育ち、産業を生み、経済を回し、そして人を育てるという好循環が作られる政策を期待する。</p>	<p>ここでは数値化できる指標として企業誘致件数としています。</p> <p>産業振興と人材育成は地方創生を推進する上で車の両輪の関係であり、鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけ、分野横断的な推進を図ります。</p>

16	5-2 1-2	有機農業の振興について（オーガニックタウンの提案） 若い世代に訴求力が高く、コウノトリとの相性も良い。また、子どもの食育のほか、農業振興、地産地消、健康増進といった施策においても効果が期待できる。	コウノトリは「人にも生きものにもやさしい」豊かな自然環境づくりのシンボルであり、市ではこのとり伝説米などの減農薬・減化学肥料栽培などを推進しています。オーガニックはこれに通じるものであり、今後の施策推進の参考にさせていただきます。
----	------------	---	---

●政策6 市民協働・行政運営に関する政策

No.	施策	意見要旨	意見に対する市の考え方
17	6-3 6-4	DXを活用した市民の行政の情報の行き来について スマホ時代に対応した情報発信や意見公募の方法について検討されたい。	SNSを活用した情報発信の有効性は認識しているところです。引き続き様々なチャンネルでの発信を行うとともに、特に観光情報等については、市民の皆さんにフォローしていただき、より拡散されるよう努めてまいります。 また、SNSを活用した意見聴取についても検討してまいります。
18	6-4	意見提出方法に関して、スマートフォンで回答できるアンケート形式などWEB上で回答できる方法を検討されたい。広く市民の声を拾い、市民全体で鴻巣市をより良くしていけるような巻き込みを期待する。	市民の皆さんからの意見聴取において、WEBやSNSを活用したアンケート等の実施を検討してまいります。